

2008年3月入職

きむらたかひろ  
木村貴大



## もっと良くなる方法を、いつも考えている

### 私の発案で、業務フローが変わったことも

「もっと最適な方法はないだろうか」。私はいつもそんなことを考えながら、日々の業務に取り組んでいます。もちろんマニュアルは整備されていますが、それが全てではありません。より良いアイデアがあれば積極的に発信するようにしています。たとえば、以前は血圧の測定を手動で行っていたのですが、現在は透析用監視装置（コンソール）に内蔵されている自動血圧計を用いて時間管理で測っています。これは私の発案で、手動で測っていたフローを省き作業時間を短縮することが出来れば、その時間を他のことに充てられると思ったのです。

組織としても、患者さま満足の上につながることなら積極的にチャレンジする、というのが基本スタンス。だからこそ私も、普段から色々と改善方法を考えることができるんだと思います。業務フローの効率化以外にも、機器についてアイデアを巡らせることもあります。「こういう機能があったら便利だな」とか、「こういう装置はないのかな」とか。そんなアイデアを周りのスタッフとディスカッションすることもあります。異なる視点の意見をもらうことで、アイデアの強度が増すことも少なくありません。

### 全ては、患者さまのため



今は主任として、新人の育成にも取り組んでいます。心がけているのは、ヒューマンエラーをなくすこと。知識や技術を身につけることも大切ですが、一番は心構えだと思っています。たとえば、複数人で何かのチェックを行うとき、全員が100%の意識で臨んでいるか。1人でも気が緩んでいるスタッフがいれば、全体に影響を及ぼしかねません。緊張感を維持するのは一筋縄ではありませんが、そこが肝心だと思っています。あとは、スタッフの良いところ

を見つけて褒めること。短所を正していくだけではなく、なるべく長所を見つけるように気を配っています。そこから自分のスキルに還元できることもありますから。全ては、患者さまのためです。先ほどお話した業務フローや機器に対して常に改善案を考えているのも、そこに集約されます。当たり前のことかもしれませんが、原点を念頭に置いておかなければ、仕事の目的が本末転倒になってしまう。この仕事に就いたときの初心を、いつまでも持ち続けたいと思います。



自分に満足する事なく  
患者さまに満足を提供し続けるCEになります。

木村貴大